

東邦大学医学部 内科学講座
糖尿病・代謝・内分泌学分野
教授 弘世 貴久 先生



糖代内センター 研究・診療活動報告

診療
研究
その他

医局長 宮城匡彦

於：第159回東邦医学会例会
2022年2月17日

診療, 教育

認定施設更新資料より

疾患	5年間の患者数	疾患	5年間の患者数
間脳・下垂体疾患	340名	糖尿病	4870名
甲状腺疾患	3872名	脂質異常症	1078名
副甲状腺および カルシウム代謝異常	125名	肥満症	50名
副腎疾患	311名		
性腺疾患(機能異常症 /原発性・続発性含む)	14名		



外来	初診1枠(医師2名体制), 再診(1枠患者25名程)AM3枠+PM1-2枠
入院	チーム制(現在4チーム) 主科約15名(年間450名程), 併診40-50名程

教授参加のカンファ	
月曜	全体カンファ
木曜	教授カンファ



研究

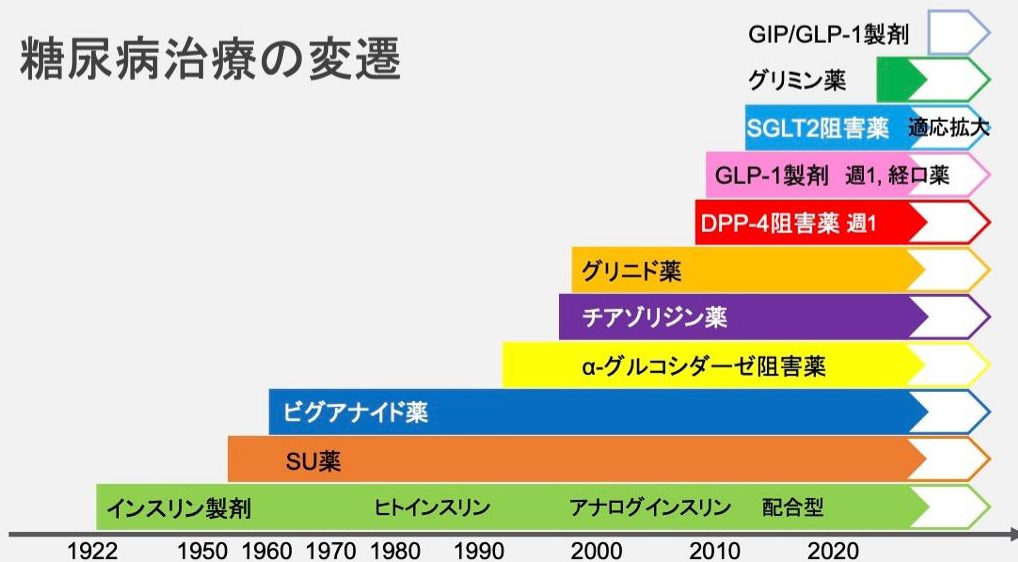


- 取り組みとして、新規薬剤の登場による治療の変化や臨床上の疑問に着目し、主に糖尿病治療での臨床研究を計画・実施しております。
- 新たな薬剤の登場やデジタルデバイスの出現が著しく、これらを用いた臨床研究を行い、有効かつ安全で質の高い治療法の開発に取り組み報告してきました。



研究

糖尿病治療の変遷



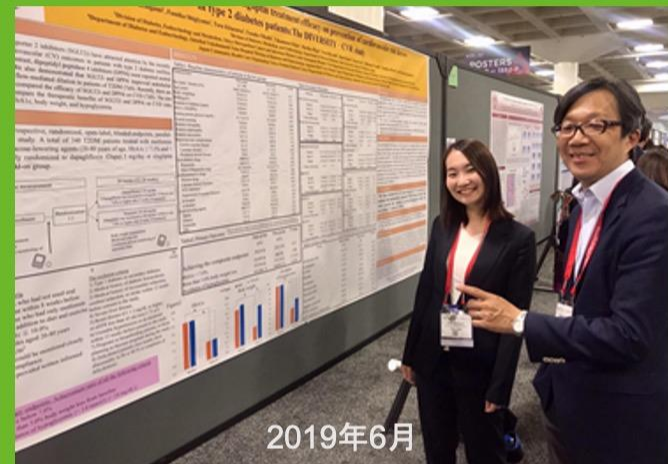
研究名	研究内容(簡潔)	学会発表	雑誌名	論文発表
Relief study	トラゼンタの動脈硬化抑制効果の検討	2016年6月ADA	J Diabetes Investig.	2017年5月
脂肪肝研究	良性脂肪肝の特徴の探求	2016年5月JDS/2016年ADA	Hepatol Commun.	2017年7月
DIRECT1	1型糖尿病 デグルデクvsグラルギン朝1回の比較	2015年5月JDS/2015年6月ADA (Diabetes誌上)	Diabetes Ther.	2017年5月
DEFENCE study	フォシーガの軽症糖尿病における動脈硬化抑制効果の検討	2017年ADA(サンディエゴ)	Cardiovasc Diabetol.	2017年7月
BOOST2 study	DPP-4阻害薬で効果不十分例にリラグルチドかグラルギンを追加	2017年5月 JDS(名古屋)	Diabetes Ther.	2018年8月
EMPOWER study	ジャディアンス頓服による行動変容・A1c改善効果の検討	2017年5月 JDS(名古屋)	Diab Obes Metab.	2018年9月
DIRECT2	2型糖尿病 デグルデクvsグラルギン朝1回の比較	2015年5月 JDS(下関)		
ATOMIC study	経口薬と1日1回注射で効果不十分例の次の手でトホグリフロジンを追加	2016年5月 JDS(京都)		
フォシーガ入院スタ ディ	MDIにフォシーガを追加した際のエネルギー消費と基質酸化などの比較	2016年6月 ADA	J Diabetes Investig.	2018年12月
VMAT study	2型糖尿病 MDI+メトホルミン vs +エクアのCGM比較	2017年ADA(サンディエゴ)	Diabetol Int.	2021年6月
ECLIPS study	強化療法のボーラスをビクトーザまたはカナグルへ切り替える	2018年10月EASD(ベルリン)	J Diabetes Investig.	2021年10月
睡眠障害と糖尿病 横断研究	アンケート調査	2017年5月 JDS(名古屋)		
SUCCESS study	未治療の睡眠障害を有する2型糖尿に対するベルソムラの効果の検討	2018年5月 JDS(東京)	Diab Res Clin Pract.	2020年9月
DIVERSITY-CVR	SGLT2阻害薬vsDPP-4阻害薬の糖尿病合併症予防に対する影響の検討	2019年6月 ADA(サンフランシスコ)/2019年9月 EASD(バルセロナ)	Cardiovasc Diabetol.	2020年1月
ASSET study	心臓脂肪のスタディ	2020年6月 ADA(シカゴ)	Cardiovasc Diabetol.	2021年1月
Resistatce study	肝脂肪のスタディ	2022年6月 肝臓と糖尿病・代謝研究会(予定)		
微小音響圧による 皮下組織3次元マッ ピング	インスリン注射皮下組織の超音波パルスでの検討	2020年6月 ADA(シカゴ)		
FEEDING-ME	インスリン治療及びSGLT-2阻害薬併用療法—等価炭水化物調整の比較	2020年 JDS/2020年 ADA		
DISCHARGE Study	入院中にMDI導入しリブレProでの退院直後の血糖変動評価	2021年5月 JDS(金沢)		

教育・研究・診療，その他

・国際学会
研究結果を発表

・医学雑誌の依頼原稿
ふだんの診療や研究を基に

・単行本を分担執筆
ふだんの診療や研究を基に



2019年6月



2021年5月

